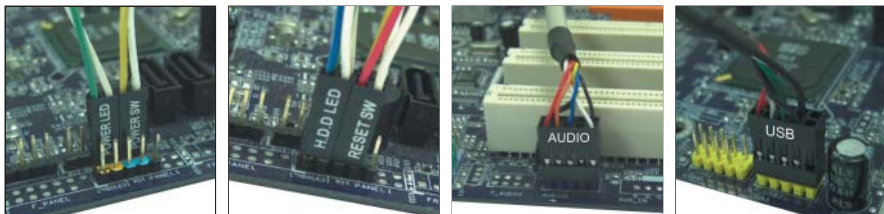


Hi-Tech 7 A

取扱説明書

本ケース付属の各ケーブル(スイッチ類など)の接続について



お使いのマザーボードの取扱説明書をご参照の上、正しく接続を行って下さい。
上の画像は一般的な接続イメージとなり実際の接続位置と異なる場合があります。

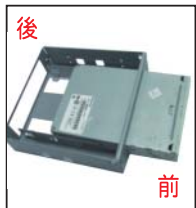
3.5インチデバイス(FDDなど)のインストール方法



1. ドライブベイで固定されているスクリーレスキットを外して下さい。



2. FDDトレイを引き抜いて下さい。



3. FDDトレイにお持ちの3.5インチデバイスを挿入して下さい。



4. FDDトレイと3.5インチデバイスのネジ穴位置を合わせて、付属のミリネジで固定して下さい。



5. 4番で組み上がったFDDトレイを本ケースの5インチベイに挿入しネジ穴位置を合わせて下さい。



6. 1番で外したスクリーレスキットでFDDトレイを固定して下さい。

HDDのインストール方法

3.5インチ→5インチベイ搭載用防振マウンタの使用方法



- HDD用防振マウンタ×2
- ミリネジ×4
- インチネジ×4



1. 上図を参考にインチネジを使ってお持ちの3.5インチHDDに防振マウンタを取り付けて下さい。

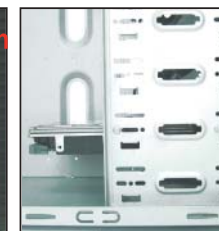
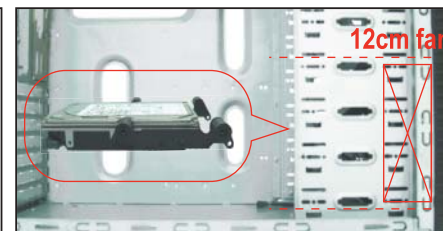
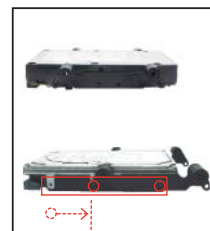


2. 任意の5インチベイにHDDを挿入して下さい。

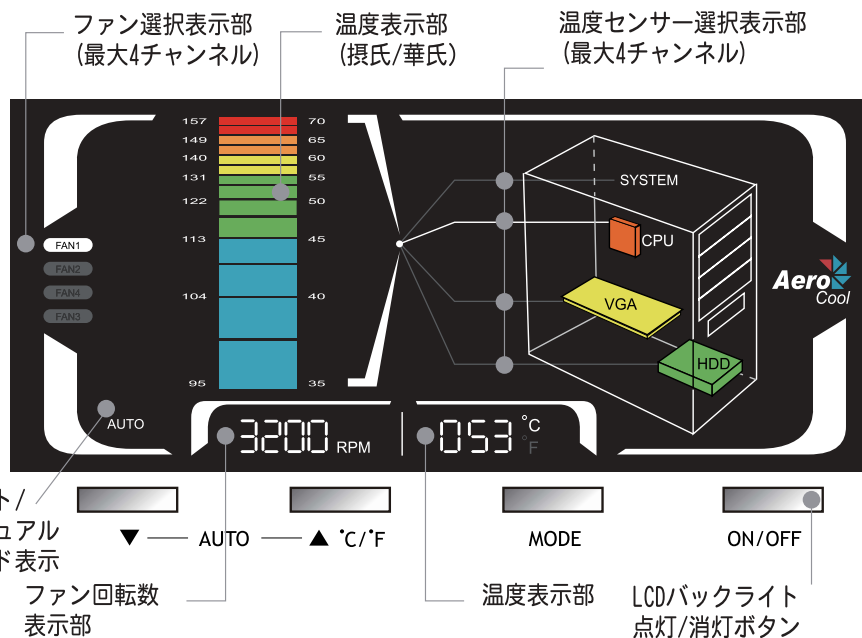


3. ミリネジで防振マウンタ付きHDDを固定して下さい。

フロント12cmファンを搭載する場合は、下記のように3.5インチHDDのインストールに注意し、12cmファンと物理干渉しないよう設置して下さい。



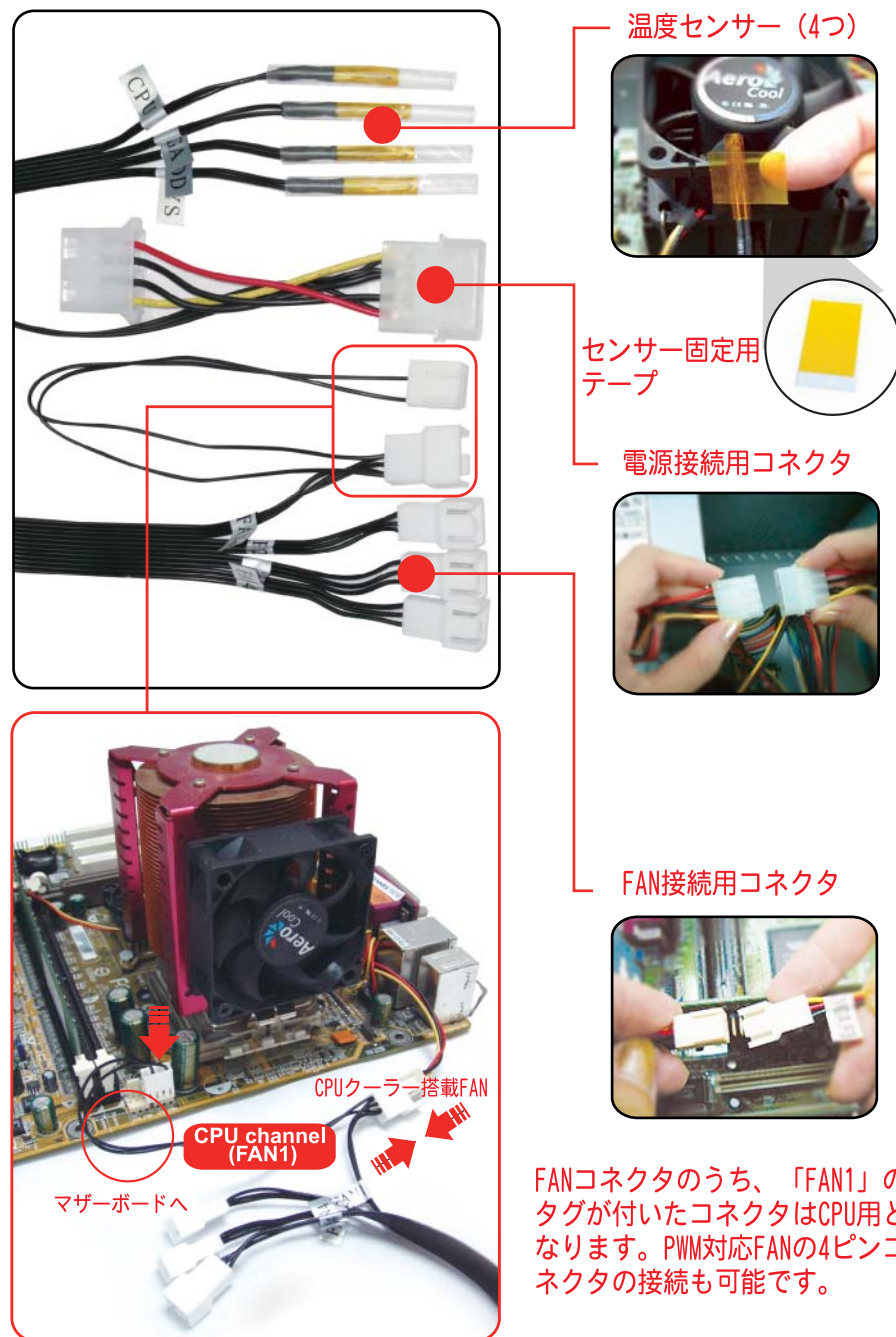
LCDモニター



最初の使用時にLCD設定のリセットを行って下さい。
上図のON/OFFボタンを3秒間以上押すことでリセットされます。

本LCDパネルにFANを接続する、付属の温度センサーを任意の計測箇所貼り付ける作業は、必ずパソコンの電源を切った状態で行って下さい。

温度センサーでCPUの温度を計測する際は、CPUクーラーのヒートシンク部分などを計測箇所として下さい。
CPUとCPUクーラーの間に挟むなど誤った使用法をされるとCPUの冷却性能が著しく低下し、機器を破損させる恐れがあります。



警告温度初期設定（リセット作業を行うとこの設定となります）

チャンネル 警告温度	CPU	VGA	HDD	SYSTEM
°C (摂氏)	65	55	55	45
°F (華氏)	149	131	131	113

※オート（全自動）モード設定の時はFAN回転数の変更が出来ませんのでご注意ください。

それぞれのチャンネルの温度・FAN回転数の確認方法

「MODE」ボタンを押すたびに以下のように各チャンネルの温度・FAN回転数表示の切替が可能です。

CPU/FAN1 → VGA/FAN2 → HDD/FAN3 → SYSTEM/FAN4



オート（全自動）/マニュアル（手動）モードの切替方法

▲▼ボタンを同時に押すことでオート（全自動）/マニュアル（手動）の切替が可能です。

FAN回転数の設定（マニュアルモード時）

- 「MODE」ボタンを押して回転数を調整したいFANチャンネルを選択して下さい。
- ▲もしくは▼ボタンを押してご希望のFAN回転数に設定して下さい。（100rpm刻みで設定可能です）
- 再び「MODE」ボタンを押して設定を保存します。保存しない場合、10秒ほどで元の設定に戻ります。
（設定可能な最低回転数は使用するFANの定格回転数の約60%+100rpmとなります。例：定格2000rpmの場合、 $2000 \times 0.6 + 100 = 1300$ rpmが設定可能な最低回転数となります）

警告温度および警告FAN回転数の設定方法 （マニュアルモード時）

- 「MODE」ボタンを3秒間押し設定モードに入って下さい。（CPUチャンネルがLCDモニター上で点滅します）
- ▲もしくは▼を押しご希望の警告温度を設定します。（摂氏の場合25～95℃の範囲で1℃刻みで設定可能です。設定温度以上になった場合にアラームが鳴ります）
- 再び「MODE」ボタンを押し、次にFAN回転数設定モードに入ります。
- ▲もしくは▼を押しご希望の警告回転数を設定します。（設定可能な警告回転数はお使いのFANの定格回転数の90%から60%の範囲となります。
例：定格2000rpmの場合、 $2000 \times 0.9 = 1800$ rpmから
 $2000 \times 0.6 = 1200$ rpmの範囲で警告回転数の設定が可能となり、設定回転数以下になった場合にアラームが鳴ります）
既にマニュアルモードでFAN回転数を定格回転数以下に設定されてる場合、警告回転数の設定はその回転数以上には出来ませんのでご注意ください。
- 「MODE」ボタンを押して次のチャンネルに移動します。
- 上記の2～5のステップを繰り返し各チャンネルの設定を行って下さい。
（「MODE」ボタンを3秒間押しすと通常温度表示モードに戻ります。10秒間ボタン操作が無い場合、直前の操作表示に戻ります）

最終ページのNOTEもご参照下さい

最終ページのNOTEもご参照下さい

警告温度の設定方法（オートモード時）

1. 「MODE」 ボタンを3秒間押しして設定モードに入ってください。
2. 設定方法はマニュアルモード時と同じです。マニュアルモード時の使用方法を参照の上、設定を行ってください。

摂氏/華氏の切替方法

「▲℃/℉」 ボタンを2秒間押しすると摂氏/華氏の表示の切替が出来ます。

LCDバックライトの点灯/消灯

「ON/OFF」 ボタンを押すことでLCDバックライトの点灯/消灯が可能です。
(バックライトがOFFでもFAN回転数・温度監視は機能し続けます)

リセット

「ON/OFF」 ボタンを3秒間押しすると初期設定にリセット出来ます。

接続するFANについて

各チャンネルに接続可能なFANは0.5A以下となります。接続前にお使いのFANの仕様を確認して下さい。
規定値以上の仕様のFANの接続は発熱その他の機器の損傷につながる恐れがありますのでご注意ください。

NOTE

接続したFANの警告回転数を設定した場合、FANコントロール設定での最低回転数は警告回転数+100rpmとなりますのでご注意ください。

新たに警告回転数を設定する毎に、一度定格回転数でフル回転した後、設定した回転数（未設定の場合は定格回転数のまま）に戻ります。
回転数調整の誤差は±10%もしくは±100rpmのいずれか値の大きい方となります。

一度警告回転数を設定されたチャンネルに別の仕様のFANを接続した場合、それまでの設定は破棄され新たに接続されたFANの定格回転数で回転します。

